

小中学校の適正配置に関する意識調査 集計結果報告書

も く じ

■意識調査集計結果 全体のまとめ	... 1
■小学生保護者の集計	...11
■中学生保護者の集計	...37
■教職員の集計	...54

平成26年4月
宮代町教育委員会

意識調査集計結果(全体のまとめ)

〔実施期間〕 平成26年2月12日（水）～2月20日（木）

〔対象者・回収率〕

	保 護 者			教 職 員		
	配 布 (家庭数)	回 収	回収率	配 布	回 収	回収率
小 学 校	1,141件	1,070件	93.8%	100件	98件	98.0%
中 学 校	718件	617件	85.9%	69件	68件	98.6%
合 計	1,859件	1,687件	90.7%	169件	166件	98.2%

〔集計結果（まとめ）〕

一部、端数調整のため合計が100%にならない場合があります

I 回答者自身について

【質問1】 回答者の性別 …保護者の回答者の大半を「女性」が占めました。

選択項目	小学生	中学生	教職員
ア 男	115件	59件	71件
イ 女	944	554	91
無回答	11	4	4

【質問2】 回答者の年代

選択項目	小学生	中学生	教職員
ア 29歳以下	17件	5件	29件
イ 30～34歳	129	17	15
ウ 35～39歳	333	103	9
エ 40～44歳	412	258	11
オ 45～49歳	129	166	21
カ 50歳以上	34	60	80
無回答	16	8	1

【質問3】 子どもの学年 …各学年ほぼ均等に回答いただいたようです。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
1年生	220件	8件	230件	17
2年生	219	10	207	10
3年生	220	10	199	16
4年生	210	10		
5年生	236	11		
6年生	209	10		
その他				小中60

Ⅱ 通学路・通学区域について

【質問4】現在の通学手段

小学生の大半は「徒歩」です。その他は区域外から通学する児童が自動車等を使用しているようです。中学生では自転車通学が認められるため全体の1/3程度が利用しています。この自転車通学の条件は単純な距離ではなく、学校ごとに区域を定めて許可されています。

選択項目	小学生	割合	中学生	割合
ア 徒歩	1,053件	99.1%	380件	62%
イ 自転車	0件	0.0%	223件	36%
ウ その他	10件	0.9%	9件	2%

【質問5】「現在の通学距離」と「上限」

通学距離の「上限」はややバラつきが見られますが、最も多い回答は「小学生・2km未満」、「中学生・3km未満」という結果になりました。

選択項目	小学生		選択項目	中学生	
	現在	上限		現在	上限
ア 500m未満	141件	3件	1km未満	176件	11件
イ 500m～1km未満	297	125	1km～2km未満	199	107
ウ 1km～1.5km未満	239	232	2km～3km未満	118	154
エ 1.5km～2km未満	165	295	3km～4km未満	30	114
オ 2km～2.5km未満	66	142	4km～5km未満	7	76
カ 2.5km～3km未満	37	143	5km～6km未満	5	62
キ 3km以上	19	19	6km以上	8	9

【質問6】「現在の通学時間」と「上限」

通学時間の回答は、通学距離ほど分散していません。小・中学校とも「30分以内」がめやすとなるようです。

通学路では、距離もちろんですが、これに要する「時間」に重きがおかれていることがうかがえました。

選択項目	小学生		中学生	
	現在	上限	現在	上限
ア 10分以内	258件	15件	162件	8件
イ 20分以内	365	191	313	137
ウ 30分以内	240	472	53	257
エ 40分以内	112	33	9	96
オ 50分以内	34	60	2	19
カ 60分以内	2	35	0	14
キ 60分超	0	0	0	1

【質問7】 通学区域の設定にあたり、優先すべきこと(2つ選択)

通学区域の設定における配慮事項は「安全」「距離」に回答が集中しました。

通学路では、距離もちろんですが、これに要する「時間」に重きがおかれていることに多かった「バランス」は、自由意見欄にもあるように「区域の中心に学校があると良い」ということのように。

選択項目	小学生	中学生
ア 道路交通環境や、災害時を考慮して安全面に配慮する	48%	48%
イ 学校までの通学距離があまり遠距離にならないよう配慮する	38%	35%
ウ 自治会や祭りなどの地域活動のつながりに配慮する	1%	1%
エ 駅など公共的施設の配置に配慮する	2%	2%
オ 一部に集中しないように、地域間、学校間のバランスに配慮する	11%	13%
カ その他	1%	1%

【質問8】 児童・生徒数減少による影響について

- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ち難くなる

小・中学生ともに、保護者より教職員の方が感じている項目となりました。
この差は「どちらとも言えない」に現れていて、特に中学校ではその差が顕著です。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	17%	15%	20%	22%
やや思う	33%	40%	35%	46%
どちらとも言えない	30%	28%	29%	16%
そう思わない	20%	17%	16%	16%

- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける

保護者と教職員の回答の分布がだいたい近似しています。
いずれも小学生より中学生で感じられる項目のようです。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	18%	13%	22%	19%
やや思う	33%	44%	38%	41%
どちらとも言えない	24%	22%	21%	21%
そう思わない	25%	21%	19%	19%

- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる

保護者、教職員ともに「どちらとも言えない」がもっとも多い回答となりました。
「工夫次第」とも解せます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	11%	10%	13%	9%
やや思う	28%	30%	31%	33%
どちらとも言えない	35%	36%	37%	42%
そう思わない	26%	24%	19%	16%

- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化される

保護者、教職員ともに多くが感じている項目となりました。特に教職員では全体の8割弱が感じていることが分かりました。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	24%	22%	26%	22%
やや思う	36%	57%	41%	57%
どちらとも言えない	25%	14%	25%	13%
そう思わない	15%	7%	8%	8%

- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る

保護者、教職員の回答にかい離がある項目のひとつとなりました。
特に、保護者回答では「どちらとも言えない」が最も多くなっています。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	15%	44%	17%	47%
やや思う	31%	30%	35%	30%
どちらとも言えない	38%	19%	36%	7%
そう思わない	16%	1%	12%	3%

- ⑥ PTAや子ども会などの活動で、保護者の役割・負担が増える

⑤同様ですが、保護者、教職員の回答が逆になった形です。
また、小学生へ保護者の方が中学生保護者より実感していることがうかがえます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	40%	16%	32%	18%
やや思う	35%	47%	35%	39%
どちらとも言えない	19%	31%	26%	39%
そう思わない	6%	6%	7%	4%

- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる

保護者では「どちらとも言えない」「そう思わない」が7割を超えており、情報・交流については、他にも手段・方法があることがうかがえます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	6%	11%	6%	8%
やや思う	18%	36%	24%	38%
どちらとも言えない	43%	41%	44%	38%
そう思わない	33%	12%	26%	16%

- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる

保護者と教職員との回答にかい離がみられます。

特に中学校では「そう思う」の割合が高くなっています。この要因のひとつとして中学校での教員数は、教科担任数に直結するためと考えられます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	13%	31%	14%	47%
やや思う	31%	30%	30%	30%
どちらとも言えない	43%	23%	40%	10%
そう思わない	13%	7%	11%	3%

- ⑨ クラブ活動の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする

保護者、教職員ともに回答者の多くが感じている項目のようです。

また、自由意見欄でも「部活動の種類」「人数」に関する意見が多く寄せられていました。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	45%	33%	58%	69%
やや思う	36%	30%	32%	30%
どちらとも言えない	14%	10%	7%	6%
そう思わない	5%	2%	3%	1%

【質問9】 望ましい1学級あたりの人数

1クラスあたりの人数としては、小学校「21～30人」、中学校「26～35人」に回答が集まっています。

参考ですが、平成26年度の1クラスあたり児童生徒数（平均）は、以下のとおりとなっています。

〔小学校 約28人/クラス 中学校 32人/クラス〕

なお、1クラスあたりの児童・生徒数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により、「上限40人」と定められています。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 20人以下	4%	3%	2%	0%
イ 21～25人	31%	41%	16%	0%
ウ 26～30人	47%	53%	46%	12%
エ 31～35人	15%	3%	31%	58%
オ 36～40人	3%	0%	5%	30%

【質問10】 望ましい1学年あたりの学級数

1学級（単学級）を望む回答はなく、また多くても6学級が最大でした。

小学校では、保護者・教職員ともに「3学級」が最も多い回答でしたが、中学校では保護者「3学級」、教職員「4学級」に分かれたようです。

理由として、中学校では「全教科の担任が配置される規模」であることが考えられます。また、体育科など男女別で行う授業では「偶数学級」が運営しやすい点も考えられます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 1学級	0%	0%	0%	0%
イ 2学級	13%	10%	1%	0%
ウ 3学級	68%	83%	52%	10%
エ 4学級	12%	7%	25%	50%
オ 5学級	5%	0%	17%	27%
カ 6学級	1%	0%	4%	13%
キ その他	1%	0%	1%	0%

【質問11】 【問10】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

1学年の学級数を選んだ理由の集計です。

小・中学校保護者、教職員とも「クラス替え」ができることが最も多い回答です。

次に多かった回答は、小・中学生保護者では「いろいろな役割りの経験」が、教職員では「学校全体の活気」となっています。

選択項目	小学校	中学校	教職員
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	64件	35件	1件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	719	376	120
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	468	259	54
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる	245	178	56
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる 機会がある	365	199	72
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	118	125	13
キ その他	33	7	4

※選択された「学級数」ごとの分析は、対象者別集計結果をご覧ください。

【参考】 各小中学校の児童生徒数 (H26.4.6現在)

…意識調査結果を当てはめたもの

		須賀小		百間小		東小		笠原小	
			Avg		Avg		Avg		Avg
1年	児童 学級	58人 2学級	29人	84人 3学級	28人	36人 2学級	18人	64人 2学級	32人
2年	児童 学級	77人 3学級	26人	60人 2学級	30人	47人 2学級	24人	53人 2学級	27人
3年	児童 学級	61人 2学級	31人	75人 2学級	38人	46人 2学級	23人	51人 2学級	26人
4年	児童 学級	73人 2学級	37人	68人 2学級	34人	47人 2学級	24人	59人 2学級	30人
5年	児童 学級	82人 3学級	27人	61人 2学級	31人	42人 2学級	21人	51人 2学級	26人
6年	児童 学級	79人 2学級	40人	98人 3学級	33人	46人 2学級	23人	45人 2学級	23人
合計	児童 学級	430人 14学級	31人	446人 14学級	32人	264人 12学級	22人	323人 12学級	27人

		須賀中		百間中		前原中	
			Avg		Avg		Avg
1年	生徒 学級	70人 2学級	35人	105人 3学級	35人	66人 2学級	33人
2年	生徒 学級	85人 3学級	28人	98人 3学級	33人	80人 2学級	40人
3年	生徒 学級	90人 3学級	30人	101人 3学級	34人	70人 2学級	35人
合計	生徒 学級	245人 8学級	31人	304人 9学級	34人	216人 6学級	36人

【質問12】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

保護者、教職員ともに「冷暖房」「トイレ」に回答が集まりました。
次に多かった回答は、保護者「セキュリティ」、教職員「パソコン環境」です。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 冷暖房設備	25%	20%	27%	28%
イ セキュリティ対策	21%	10%	19%	10%
ウ 図書・資料	9%	14%	9%	7%
エ トイレなど衛生設備	26%	24%	22%	19%
オ 省エネ設備	3%	2%	3%	3%
カ 視聴覚設備	1%	5%	1%	6%
キ 体育施設	6%	7%	8%	8%
ク パソコンとネットワーク環境	9%	17%	11%	17%
ケ その他	1%	1%	1%	1%

「ケ その他」の主なもの(一部、ア〜クと重複)

安全面

校舎の補修、耐震対策・補強、災害に備え倉庫や体育館の充実
警備、スクールバス

空間・構造

ゆとりある空間が保障された建物構造と安全性、オープンスペース
校内の緑化、心が安らぐ環境、環境に配慮した自然豊かな空間
移動教室があり、教室間の距離がある
屋上に太陽光発電

空調・衛生

冷暖房、男子も個室に入れるトイレ
感染防止(加湿器等)、
スーパーや食堂等にある飲料(温・冷)

学びの環境

英語教育をする環境
個々の体に合わせた机、椅子
理科実験用備品や楽器がもっとあってもよい。

校庭

運動しやすい環境、水捌け改良、遊具

IV 地域との連携、共存について

【質問13】 学校と地域で利用される施設との連携・共存

「施設による」という回答も含めると、多機能化に対する理解が高いことがうかがえます。「自由意見欄」でも、「子ども達が様々な年代の方々と触れ合える」「自分と異なる様々な人との接し方を学ぶ」などのご意見もいただいています。

その一方で、多機能化するにあたっての課題として「安全面」「学習に集中できる環境」といった意見もいただいています。

これらは、学校現場と地域の皆さんとの意見交換などにより工夫することで、児童生徒、地域の双方が、より活動しやすい施設として運営できるのではないのでしょうか。

選択項目	小学校	中学校
ア 良いと思う	55%	51%
イ 施設による	43%	47%
ウ 良くない	2%	2%

【質問14】 学校に他の施設機能を併設する場合に考えられるもの

小・中学生とも「子ども」対象の施設に対する回答が最も多くなりました。また、中学生では「コミュニティ・生涯学習」の比率が高くなっています。

選択項目	小学校	中学校
ア 福祉サービスのための施設 (交流サロン、高齢者施設、障がい者施設 など)	21%	25%
イ 地域の子どものための施設 (児童館、学童保育、保育園 など)	57%	42%
ウ 地域のコミュニティや生涯学習のための施設 (公民館、図書館 など)	20%	31%
エ その他	2%	2%

「エ その他」の主なもの

体育館 / 図書館 / プール / 役場出張所 / 児童館 / 障がい者施設
子どもと高齢者の施設 / 診療施設(小児科など) / 病後保育
スポーツ振興の施設 / 広い校庭や土日でも自由に使える運動をする場所
ナイター設備等